

# 平成 28 年度決算認定に係る 施策評価等に関する提言(案)

※この提言案は8月1日に開催した各常任委員会での協議をまとめたものであり、9月に開催する各常任委員会での協議を経て、提言を行います。  
したがって、この案が最終的な提言ではありません。

**飯田市議会**

評価対象の第5次基本構想後期計画施策及び該当「いいだ未来デザイン2028」の基本目標一覧表

政策	施策	評価対象	いいだ未来デザイン2028基本目標	政策	施策	評価対象	いいだ未来デザイン2028基本目標	
多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり	1-1支え、育む産業基盤づくり	○	目標 ①	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり	5-1緑の保全と創出		目標 ⑩	
	1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	○	目標 ①		5-3環境汚染の防止		目標 ⑩	
	1-3新しい力による新しい産業づくり	○	目標 ①		5-4自然とのふれあいと環境学習の推進		目標 ⑩	
地育力による豊かな人づくり	2-2義務教育の充実	○	目標 ③		5-5日常的な環境負荷低減活動の展開	○	目標 ⑩	
	2-3高等教育の充実		目標 ③		5-6廃棄物の減量と適正処理		目標 ⑩	
	2-4家庭教育の充実		目標 ③		5-7社会の低炭素化の推進		目標 ⑩	
	2-5共に歩む社会づくりの推進	○	目標 ⑨		地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり	6-1地域資源の発見・資産化		目標 ④
	2-6スポーツの振興		目標 ③	6-3地域資産の保存・継承		○	目標 ④	
	2-7文化芸術の振興	○	目標 ④	自立・連携した地域づくり	7-1地域情報・課題の相互理解の推進		目標 ⑧	
	2-8学習交流活動の推進		目標 ③		7-2自立に向けた住民組織力の向上	○	目標 ⑧	
2-9ふるさと意識の醸成	○	目標 ③	山・里・街の魅力を高め交流と連携によるグローバルなまちづくり	8-1交流による高付加価値化・国際化の推進		目標 ②		
健やかに安心して暮らせるまちづくり	3-1心と体の健康づくり	○		目標 ⑥	8-2三遠南信・中京圏の連携推進		目標 ②	
	3-2医療の充実			目標 ⑥	8-3計画的な空間利用の推進	○	目標 ⑫	
	3-3共に支えあう地域福祉の推進	○		目標 ⑦	8-4活気ある街づくりの推進	○	目標 ②	
	3-4障害者福祉の推進			目標 ⑦	8-5中山間地域振興の推進	○	目標 ⑧	
	3-5高齢者福祉の推進			目標 ⑦	市民と共に進める行政経営	9-1市民参画による協働の促進		目標 ⑨
	3-6生活困難者の自立及び支援	○		目標 ⑦		9-2情報共有の促進	○	目標 ②
	3-7子どもを産み育てやすい環境の充実	○	目標 ⑤	9-3良質な行政サービスの提供		○	飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画	
暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり	4-1災害対策の推進	○	目標 ⑪	9-4効率的、効果的な行財政運営				
	4-2交通安全の推進		目標 ⑪	* 第5次基本構想後期計画の全42施策のうち22施策を評価 (内訳 総務委員会:5 社会文教委員会:8 産業建設委員会:9 ) * 「いいだ未来デザイン2028」の12の基本目標及び個別計画「飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画」に対して提言。				
	4-3地域安全の推進		目標 ⑪					
	4-4交通機関と道路の充実	○	目標 ⑫					
	4-5居住基盤の向上	○	目標 ⑪					

## 委員会別 評価施策及び提言対象「いいだ未来デザイン2028」基本目標

	第5次基本構想 後期基本計画施策	いいだ未来デザイン2028基本目標
総務委員会	7-2自立に向けた住民組織力の向上	基本目標⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる
	8-5中山間地域振興の推進	
	2-5共に歩む社会づくりの推進	基本目標⑨ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
	5-5日常的な環境負荷低減活動の展開	基本目標⑩ 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
	9-3良質な行政サービスの提供	【個別計画】 飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画
社会文教委員会	第5次基本構想 後期基本計画施策	いいだ未来デザイン2028基本目標
	2-2義務教育の充実	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	2-9ふるさと意識の醸成	
	2-7文化芸術の振興	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
	6-3地域資産の保存・継承	基本目標⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	3-7子どもを産み育てやすい環境の充実	
	3-1心と体の健康づくり	基本目標⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」をめざす
	3-3共に支えあう地域福祉の推進	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
3-6生活困難者の自立及び支援		
産業建設委員会	第5次基本構想 後期基本計画施策	いいだ未来デザイン2028基本目標
	1-1支え、育む産業基盤づくり	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
	1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	
	1-3新しい力による新しい産業づくり	
	8-4活気ある街づくりの推進	基本目標② 飯田市への人の流れをつくる
	9-2情報共有の促進	基本目標⑪ 災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める
	4-1災害対策の推進	
	4-5居住基盤の向上	
4-4交通機関と道路の充実		
8-3計画的な空間利用の推進	基本目標⑫ リニア時代を支える都市基盤を整備する	

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
7-2 自立に向けた住民組織力の向上	基本目標⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった</p> <p><b>理由</b> ・第5次基本構想後期基本計画の取り組みの数字は上がっているが、地域の自治が本当に進んでいるか。「やらされ感」が強いのではないか。</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但し、「地域住民の自発性の意識」が根付いているとは言えないことを課題として挙げているが、同時に施策の根本的な課題ではないか。</li> <li>・ 自治組織の役員の参加する事業等が多く、役員が負担を感じている。</li> <li>・ 地域自治組織の活動の検証ができていない。</li> <li>・ その他の住民団体を巻き込んで、その活動に取り組む傾向が見込まれるとあるが、見込める状況にないと考える。</li> <li>・ 施策の方向性が見えにくく、根本的な課題解決になっていない。</li> </ul> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治組織の役員の負担増、疲弊感があり自主的活動ができない。</li> <li>・ 地域協議会委員とまちづくり委員会の役員が重複している例が多い。地域協議会が形骸化しているのではないか。まちづくり委員会と地域協議会の関係を地域協議会の在り方も含め検証が必要。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民満足度の計測とその検証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民の満足度を計測する仕組みを検討願いたい。</li> <li>・ まちづくり委員会と地域協議会の役割の明確化、検証を実施されたい。</li> <li>・ 地域自治を守り育むための仕組みづくりを研究する中で、併せて市役所の在り方（役割）にも取り組まれたい。</li> <li>・ 市の方針、自治のあるべき姿を説明し、地域と共に学ぶとともに、住民組織の実情を語り合い、住民組織と一緒に課題解決にあたる姿勢（市政）に務められたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
8-5中山間地域振興の推進	基本目標⑧ 新時代に向けたこれからの地域経営の仕組みをつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>理由</b> ・人口減少率の改善は見られないが、地域おこし協力隊の新規導入や地域振興住宅整備により一定の評価をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果指標に表れない地域の意欲的な取り組みは、大いに評価できる。</li> </ul> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定住人口の増加を目標とする。（定住人口の増加が見込めないので方向を見直すべきという意見もあった。）</li> </ul> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域振興も大切だが、地域住民が安心できる生活環境の整備。</li> <li>・中山間地域での体験修学旅行受入農家の高齢化が進んでいる。</li> <li>・中山間地域への取組が、他の自治体と同じような取り組みになっている。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外からの目」による地域の検証。</li> <li>・中山間地域7地区の各種団体相互の連携。</li> <li>・他の自治体と差別化を図る取り組み。</li> <li>・市の現在進めている施策は他の自治体と同じようではあるが、これを尚一層充実させる。</li> <li>・現在住んでいる住民の生活環境の維持。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊の取組は、地域が元気になる。飯田市独自の「地域おこし協力隊」や「集落支援員」への設置に取り組みたい。</li> <li>・中山間地域の「農業」を軸として、その発展性、可能性を広域連合及び地域（地元）とともに研究を進められたい。</li> <li>・中山間地域がいかに元気になったのか、成果をみられる指標を検討されたい。</li> <li>・中山間地域の魅力を「客観的に再発掘」する仕組みづくりに取り組みたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-5 共に歩む社会づくりの推進	基本目標⑨ 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ (Cの評価もあり)</p> <p>理由・ 人口減少が進んでいるが、中心的役割を担う関係団体の活動が活発であり、また、多文化共生も着実に浸透してきている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第5次基本構想後期基本計画の取り組みにおいて、女性委員の割合が上昇したことは評価する。</li> <li>・ 反面、女性に負担がかかっている事例が見受けられた。</li> </ul> <p><b>【課題認識・方向性(有効策)】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「共に歩む社会づくりの推進」というものの、地域や家庭にある「負の役割意識(分担)」。</li> <li>・ 女性も「一個人」としての自覚と意識を持ち、社会参加できる社会にはほど遠い。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域や家庭に残っている負の役割意識、慣習やしきたりの見直し(人権教育)。</li> <li>・ 女性の活躍推進を目的とした市民意識の向上を図るための社会の土壌・環境づくりの全市的な取り組みの実施。</li> <li>・ 環境の変化にあった市民意識の向上・改革を図るための取り組み。</li> <li>・ 若年層の地域づくりへの参加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「基本目標9 個性を尊重し、多様な価値観を認め合いながら、交流する」の戦略に「女性」の文字がない。「誰もが」という言葉ですべてを包含するようだが、「女性」の文言を入れられたい。</li> <li>・ あらゆる場面への女性が参画できる・するために「何をすべきか」について研究を進められたい。</li> <li>・ 市民に対して、「共に歩む社会づくり」のための学習の場(慣習やしきたりの見直しも含めて)の提供に努められたい。</li> <li>・ 外国人住民が飯田市内で生活するための知識や常識を習得し、かつ居住している地域のことを学習しながら地域住民と交流を進められる場の創出を検討されたい。</li> <li>・ 公共施設の多言語表記による外国人対応をさらに進められたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
5-5日常的な環境負荷低減活動の展開	基本目標⑩ 豊かな自然と調和し、低炭素なくらしをおくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p>理由・ 成果指標的には（A）、環境モデル都市として大枠で見るとポイ捨てが多いのでB。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民レベルは進んだが、事業所の取り組みはどうか。</li> </ul> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民の意識に訴える政策の推進。</li> <li>・ 新しい再生可能エネルギー対策。</li> <li>・ ごみのポイ捨て。</li> <li>・ 低炭素。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さらなる環境学習。</li> <li>・ 「見る」ことで学習できる施設を結びつけてエネルギーパークとし、環境に対する意識向上につなげる。</li> <li>・ 住民の意識改革をさらに進める。</li> <li>・ 環境保全型農業のさらなる推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポイ捨てに対する市民のモラル向上に努められたい。</li> <li>・ 新たな再生可能エネルギーの検討をされたい。</li> <li>・ 環境意識を醸成する人づくり・地域づくりを進められたい。</li> <li>・ 住民意識を高いレベルで維持、推進していくために、基本目標の実現に向けた、短期・中期・長期のプランニングを進められたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
9-3 良質な行政サービスの提供	【個別計画】飯田市行財政改革大綱に基づく実行計画
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p>理由・ ワンフロアー・ワンストップサービスをめざしたこと、職員コンシェルジュ宣言等市民対応への意識の向上への取組が評価できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 但し、市民の評価対象が、庁舎の受付委託業者の対応か、職員の対応か不明確であり、一概に職員の行政サービスが向上したとは言い難い。</li> <li>・ 「市民ニーズに合った行政サービスを提供」という表現が、具体性に欠ける。</li> </ul> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修は机上だけではなく、市民の生活のある現場の研修も必要。市民に寄り添い、市民のその時のニーズを汲み取る力の向上。</li> <li>・ 職員が「全体の奉仕者」という意識を保持しているか。</li> <li>・ 組織的な情報の共有化。</li> <li>・ 職員のモラルが求められているが、短期間に交通違反が数件発生するなど全員に徹底されていない。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治振興センターや公民館（現場）で経験を積むという意図を持つ人事。</li> <li>・ 市民の不満点の掘りおこし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「飯田市行財政大綱に基づく実行計画」の「良質な行政サービスの提供」部分については、毎年評価をされたい。</li> <li>・ 子供から大人まで理解しやすいように、できるだけ行政用語を多用しない対応能力の向上に努められたい。</li> <li>・ 行政サービスのさらなる向上に努められたい。</li> <li>・ 市民意識調査以外にも、来庁者に対してアンケートをとるなど、現状を把握しやすい調査を実施されたい。</li> <li>・ 今後リニア関連事業の推進にあたり、市民に寄り添った市政の実行と、リニアビジョン実現に向け、職員の適正配置は、より一層確実に取り組まれたい。</li> <li>・ 変化の激しい市民生活に機敏に対応できる職員の育成を進められたい。</li> <li>・ 目指す職員像を明確に描かれたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-2 義務教育の充実	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
<p><b>【施策全体の評価】</b> A 進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校ごとの飯田らしいコミュニティスクールの構築。</li> <li>・ 支援が必要な児童生徒が増えていることへの対策。</li> <li>・ ICT教育を生徒、そして教師にとって有効な手段とすることができるか。</li> <li>・ 小学校における英語教育の円滑な導入。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保小連携の具体的推進。</li> <li>・ コミュニティースクールは、地域の主に高齢者が対象になることが想定されるが、高校生や大学生との交流も必要。</li> <li>・ 不登校の対策として、経験豊富な教員の手厚い配置などが必要。</li> <li>・ ICT教育、コミュニティースクール共に、教職員の関わり方がカギを握っている。教職員の意識の持ち方も含めた、レベルの統一を図れるような対策が必要。</li> <li>・ 本格化するICT教育を飯田市でどう生かしていくか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中山間地等それぞれの地域事情に適応した学校づくりに取り組まれない。</li> <li>・ ICT教育の推進におけるマイナス面・弊害部分に対する理解と対策に取り組まれない。</li> <li>・ 教職員への負担増大が予想されるなか、支援の拡充を進められたい。</li> <li>・ コミュニティースクールによる公民館等地域との連携に加え、高校生や大学生を加えた交流を検討されたい。</li> <li>・ LG飯田教育の研究を進め、具体的な事業として取り組まれない。</li> <li>・ 学校の部活動については、当事者の声を反映させるよう取り組まれない。</li> <li>・ 不登校対策の充実を図られたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-9ふるさと意識の醸成	基本目標③ 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった  理由・ 成果指標の傾向が芳しくなく、目標値に届いていない。  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b>  ・ 高校生アンケートによる、地域への愛着と住み続けたい意思との落差への対策（アンケートの取り方に一考の余地あり）。  ・ ふるさと学習等のための情報システムの整備。  ・ 体験を通したふるさとに愛着を持つ施策（コミュニティスクールと連携した取り組み）。</p> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b>  ・ 高校生に地域の祭や行事に積極的参加を促す。  ・ 「地域人教育」の水平展開。  ・ 高校生をもつ親のふるさと意識の醸成。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生・高校生を中心に、地域の祭・行事に参加することを推進する取り組みを進められたい。</li> <li>・ 「地域を知るための副読本」を活用されたい。</li> <li>・ 飯田OIDE長姫高校で行われている「地域人教育」の水平展開を進められたい。</li> <li>・ 市民の学習意欲向上が地域の活性化につながるよう、学びたい時に身近に触れられる学べる環境整備に取り組まれたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
2-7 文化芸術の振興	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった</p> <p>理由・ 成果指標の文化芸術活動を行っている人の割合が減少している。</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「文化芸術の振興」とは、どういう状態・レベルを目指そうとしているのか、具体像が見えない。</li> <li>・ 文化芸術の演じ手等の減少への対策。</li> <li>・ 文化芸術による都市間交流（リニア駅設置都市・三遠南信地域）。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3つのホール施設が、今後どうなるか将来像を描く必要がある。</li> <li>・ 和太鼓・ダンスフェスなど、新たなジャンルへの取り組みが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文化会館をはじめとする3ホール施設のあり方について、リニア時代に活かす、文化芸術の拠点となる施設の将来像を提示していくべきではないか。</li> <li>・ 「小さな世界都市」を標榜する中、その具体像は見えてこない。「小さな世界都市」の具体像を市民が知る機会として、平成30年度に開催されるAVIAMA総会、世界人形劇フェスティバルの開催を捉えて、外国向けの情報発信、外国人観光客の受け入れ態勢づくり、受け入れる市民意識の向上など、リニア時代を見据えた取り組みを進めてはどうか。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
6-3 地域資産の保存・継承	基本目標④ 自然と歴史を守りいかし伝え、新たな文化をつくりだす
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存・継承の担い手の減少傾向への対策。</li> <li>・ 地域資産の活用は、個人団体だけでは難しい。バックアップし、コーディネートする体制づくりが必要。</li> <li>・ 情報発信力の弱さ。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保存・継承に取り組むための拠点となるべき施設・エリアの整備を進める必要がある。</li> <li>・ 維持管理とともにその資産をどう活用していくかが課題となり、美博の学芸員、歴史研究所の研究者など専門知識を持った人材の育成が求められる。</li> <li>・ メディアや若い有名人を有効活用しての情報発信が必要。</li> <li>・ 古文書については、膨大な量となることが予想されるので、古民家とともに、保存の方向性を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流人口を増やし、外貨獲得につなげるためにも、飯田の歴史・文化の保存・伝承に留まらず、効果的な情報発信に取り組まれない。</li> <li>・ 情報発信という意味からも、活動の拠点となる施設、エリアの整備が求められており、「地域振興の知の拠点」の整備に取り組まれない。</li> <li>・ 地域資産が活用されることを前提とした視点が必要であり、活用するためには、地域資産をどう保存し、伝承していくことが有効であるか、地域資産の対象別に、保存・伝承方法について研究検討を進められたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
3-7子どもを産み育てやすい環境の充実	基本目標⑤ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療現場における医師会等各団体との連携。</li> <li>・ 児童クラブ等の実態把握による市民ニーズと市の計画との整合性確保。</li> <li>・ ワークライフバランスについて、事業所などの地域における子育てへの理解・協力。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代のニーズを把握し、意見を反映させるための実態調査を行う。</li> <li>・ 妊娠・出産・育児・就学と切れ目のない支援体制の構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相生市の「子育て応援都市宣言」、流山市の「母になるなら流山」といったキャッチフレーズと共に、具体的な数値も含めて当市が子育てに最適な地域であることを発信すべきではないか。</li> <li>・ 国が平成32年度末を目途とし、飯田市も進めようとしている「子育て世代包括支援センター」設置の早期実現を図る。</li> <li>・ 具体的施策             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 第3子以降の保育料無料化に取り組んではどうか。</li> <li>② 子どもの健康を守るため、中学生などの食生活をチェックするとともに、血液（糖尿）検査を導入してはどうか。</li> </ol> </li> </ul>
3-1心と体の健康づくり	基本目標⑥ 「市民総健康」と「生涯現役」ををめざす
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった</p> <p><b>理由</b>・ 国民健康保険の特定健康診査の受診率について、引用した国の目標に対し、その半分程度の30%台で推移していることから、「◎」とした評価は理解できず、進んだとは言えない。</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国民健康保険の特定健康診査の受診率が、目標値に対して低い状況が続いており、上昇の兆しが窺えない。</li> <li>・ 心の健康の対策が不十分（具体的なものが見えてこない）。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ データヘルス計画の活用。</li> <li>・ 心の健康に対する具体的事業への取り組み。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康診査の結果などのデータベースを活用し、市民への「見える化」を進めることにより、市民の健康づくりに対する意識を高めるよう取り組むべきではないか。</li> <li>・ 特定健診の受診率向上につなげるため、健康づくりを自治組織等の地域活動として取り組んではどうか。</li> <li>・ 男性が高齢化すると外出機会が減る傾向がある中で、諸活動への参加を促し、外出機会を増やすよう取り組んではどうか。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
3-3共に支えあう地域福祉の推進	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報との兼ね合いもあり、住民支え合いマップが、実際に機能するのか検証することが必要。</li> <li>・ 地域福祉における人材確保。</li> <li>・ 地域福祉計画の実行。</li> </ul> <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉相談窓口の一本化（市として全体の実態把握効果と市民に分かりやすいワンストップサービス）。</li> <li>・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域福祉コーディネーター等人材の育成に取り組まれない。</li> <li>・ マイナンバー制度の地域福祉への利活用について検討をされたい。</li> <li>・ 安心安全に暮らすため、地域における見守りに適する事業者との連携に取り組まれない。</li> </ul>
3-6 生活困難者の自立及び支援	基本目標⑦ 共に支え合い、自ら行動する地域福祉を充実させる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活困難者の実態把握、分析。</li> <li>・ 就労支援・学習支援事業の導入。</li> <li>・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)。</li> </ul> <p>【別の視点からの取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)。</li> <li>・ 各種依存症（ギャンブル・アルコール等）への予防策の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉相談窓口の一本化(ワンストップサービス)を進められたい。</li> <li>・ 民生児童委員への支援策を検討されたい。</li> <li>・ 子どもの貧困の連鎖を断ち切るため、教育現場とのさらなる連携に取り組まれない。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-1 支え、育む産業基盤づくり	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> C あまり進まなかった  理由・産業団地が完売するなど、産業基盤づくり全体に向けた取り組み展開は評価できるが、全体とするとあまり進んでいない。</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リニア、三遠南信自動車道開通による高速交通網時代を見据え、当地区の産業構造等への影響や、変化も見越した産業の基盤づくりも必要。（例えば、卸売団地を含めた流通や産業団地等を含めて考えていくことが必要。）</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業経済政策における連携、補完性を高め、事業推進を図る観点のひとつとして、産業経済部の組織力、総合力を高めるための事務所のあり方を検証。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「I-PORT」はインキュベート機能であると同時に、内貨循環を高める役割であることを前面に出すべき。設置がより広く認識されるとともに、しっかりと活用されるための体制づくりを進められたい。</li> <li>・ 企業誘致や、起業支援に繋がるよう、空き店舗等も含めたいわゆる産業用地に関する情報を整理し、発信していく体制づくりに取り組みたい。</li> <li>・ 若者が帰ってこられる産業をつくることを目標とするならば、「若者の志向する産業（就職口）とは何か」を捉え、地域産業の実態との乖離等を勘案し、その上で政策的に何を支え、育むか取り組まれたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-2未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農林業従事者、技能労働者の高齢化や後継者不足などに伴う地域産業を担う人材の育成。</li> <li>・ 産業振興において、行政が支援することと事業者頑張ってもらうことの区分をどこに置くかは判断が難しい。その中で、現状の必要な支援を見定め、振興につなげていくことが大きな課題。</li> <li>・ リニア・三遠南信自動車道時代を見越した地域産業の魅力とは何か、差別感を出せる産業は何かを求めていく視点が必要。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業出荷額の増加や、農産物の付加価値を高める視点からICT化の推進支援の取り組み。</li> <li>・ 高校生だけでなく、小中学校の頃から職に親しみ職業意識を育む取り組み。</li> <li>・ ものづくり高度人材育成事業は特定産業に偏りやすいので、汎用技術などの分野に門戸を広げる取り組みも検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業従事者の労働力の軽減や所得向上にむけ、学術機関などと連携し、農業のICT化について調査研究に取り組みたい。</li> <li>・ 技能労働者の育成、後継者の確保の観点（空家の利活用の観点）から、在来工法家屋の修繕を奨励する施策に取り組みたい。</li> <li>・ 農業後継者の育成特に、人材育成のための投資と農業後継者のネットワーク化など、魅力ある農業を目指せる取り組みなども検討されたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
1-3 新しい力による新しい産業づくり	基本目標① 若者が帰ってこられる産業をつくる
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識】 【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「リニア工事等のビジネスチャンスを活かす」は起業支援のみならず産業政策全般における課題</li> <li>・ 新たな産業振興の拠点整備事業については、より多くの人が利活用できる施設とするため、市民への丁寧な情報発信と、移転施設の機能拡充が行えるよう県との調整を図ることが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たな産業振興の拠点形成が地域産業の高度化に繋がる具体的な施策を展開し、精密・電子・機械加工・金型技術などをベースにした新たなチャレンジに繋がる政策がないかを検証されたい。</li> <li>・ リニア工事等の進捗による産業界に与える影響について、検討を始められたい。</li> </ul>
8-4 活気のある街づくりの推進	基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」
<p>【施策全体の評価】 B ある程度進んだ</p> <p>【課題認識・方向性（有効策）】 概ね正しい。</p> <p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活気ある街から価値ある街形成の観点が必要か。</li> <li>・ 中心市街地の機能が他の拠点地区と競合しないよう調整が必要。</li> <li>・ 第3期中心市街地活性化基本計画の策定に向けて、地域住民が一体となって考えるための手法の検討。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「小さな世界都市」構築に向け、まずは案内標識などから、デザインコード(デザイン方針)の研究を始められたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
9-2 情報共有の促進	基本目標②「飯田市への人の流れをつくる」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内から外への情報発信ばかりでなく、20地区それぞれが他地区の情報を共有できていない。</li> <li>・ 市民が理解しやすいよう、情報の「質」の向上にも目を向ける。市民が当たり前すぎて盲点となっているものを情報発信する人の感性で「こんなところが飯田にはある」と発信していくことが必要では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 紙媒体（広報いいだなど）と電子的情報（SNSなど）の使い分けを効果的に図る。特に紙媒体は限られたスペースでどのような情報を発信するのがベターなのかを精査。また「暮らしの情報」と「政策の発信」はそれぞれどの発信手段が適切かも精査し、一定のコスト負担を念頭に置きながら民間媒体に掲載する方法も検討されたい。</li> <li>・ 20地区での「田舎へ還ろう戦略」の取り組みが始まる今、地区での取り組み情報にあわせ、地区の魅力や、観光情報、学校行事など、各地区の情報を総合的に発信するようなコンテンツづくりに取り組まれない。</li> </ul>
4-1 災害対策の推進	基本目標⑩「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災アドバイザーなど主導的役割を担える人材の有無は地域によって格差があり、地域の実情にあった育成強化が必要。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を担う自主防災リーダーとして、防災士資格取得要件を満たした者に資格取得の促進とスキルアップするための場を設けることはもちろんのこと、女性防災リーダー育成など各地区において防災支援の一翼を担える体制づくりが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の防災訓練について、訓練のための訓練になっていないか、との声があることから、マニュアルなどの見直しも含め、それぞれの地区の実情に合った訓練の方法を、自主防災会などと協働し検討し、防災訓練のあり方を見直すことも検討されたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
4-5 居住基盤の向上	基本目標⑪「災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民満足度調査（成果指標）は掴み所がないところでは有るが、前年比6%減となった点に焦点を当て、その要因をつかむことから、さらなる展望を見いだせるのでは。</li> <li>・ 近年のゲリラ豪雨にみられるように、短時間で局地的な降雨により河川が一気に増水することが多くなってきているなか、道路側溝や農業井水の排水能力が追従していない箇所がまだまだ見受けられる。</li> <li>・ ハード事業推進から維持管理へと事業がシフトしている中で、生活環境の保全および公衆衛生の向上を図るため、合併浄化槽設置後の適切な維持管理が課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水道事業は維持の時代に入っている。本格的な維持の時代を見越し、施設の維持管理（存続）に関しどのように対応していくか検討を始められたい。</li> <li>・ 生活環境の保全および公衆衛生の向上を図る視点から、合併浄化槽の維持管理に関し県との役割を明確にしつつ取り組まれたい。</li> </ul>
4-4 交通機関と道路の充実	基本目標⑫「リニア時代を支える都市基盤を整備する」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ  <b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。  <b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路、河川の維持整備は、市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望も多い。要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化（予算化）が求められている。</li> <li>・ 地域公共交通は、利用者の視点から見れば「便数が減る⇒不便になるから利用しない」という負のスパイラルを繰り返しており、持続可能な地域公共交通を確実に実現することが課題。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、リニア・三遠南信自動車道関連の事業推進のために建設関連費が集中していく中、市民生活や安全にとって要望の高い道路・河川予算措置についてどのように住み分けていくのか一定の方向を定め、地域全体の道路河川整備に不足が生じないことを考慮されたい。</li> <li>・ 各自動車メーカーでは、自動運転システムの実用化に向け研究開発が進んでいる。リニアが開業する10年後を見据えて、自動運転による新交通システム活用に向けた研究を検討されたい。</li> </ul>

第5次基本構想 後期基本計画施策の評価	「いいだ未来デザイン2028 戦略計画」への提言
8-3 計画的な空間利用の推進	基本目標⑫「リニア時代を支える都市基盤を整備する」
<p><b>【施策全体の評価】</b> B ある程度進んだ</p> <p><b>【課題認識・方向性（有効策）】</b> 概ね正しい。</p> <p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>危険な空き家対策は所有者との接点が遠隔地居住等で難しい面もあるが、放置しておくことはできない課題である。一方で、利用可能な空き家についても、所有者の意向により中々UIターン者への貸出し等につながっていかない。市民の利便性の向上、危険性の回避の観点から市民要望の全体像の把握と、長期的な整備修繕の計画化が求められている。</li> </ul> <p><b>【別の視点からの取り組み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リニア時代を支える都市基盤を整備していくにあたり、危険な空き家の解消は従来にも増して、解体費用の補助制度の検討など戦略計画をもって対応していく必要がある。また、利活用可能な空き家についても、UIターン者への貸出し等の促進が図られるための戦略計画をもった対応が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リニア駅を取り巻く周辺の土地利用方針策定において、立地適正化計画と併せ、地域に全て任せるのではなく、都市計画の視点から市側の考えを示し、行政も積極的に関わりたい。</li> <li>外部からの交流人口増加を推進するための、市全域に渡るデザインコード(デザイン方針)について検討を進められたい。</li> </ul>